



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位
多治見市政記者クラブ同時配布資料

令和4年8月23日(火) 岐阜県発表資料		
担当課	担当者	電話番号
東濃県事務所環境課	課長 大塚和彦	代表 0572-23-1111 (内線 212) FAX 0572-25-0079

多治見市^{ひらいちょう}平井町地内及び^{みやまちょう}美山町地内における土壤汚染について

中日本高速道路株式会社が、中央自動車道多治見IC～小牧東IC間付加車線改良工事に伴い発生した土壤を調査したところ、土壤環境基準を超えるヒ素及びふっ素が検出されたため、本日(8月23日)、同社から東濃県事務所に報告がありました。

1 報告内容

(1) 所在地

多治見市平井町、美山町地内

(2) 調査結果の概要

土壤溶出量調査

項目	調査検体数	基準超過検体数	調査結果 (mg/L)	土壤環境基準 (mg/L)	最大基準超過倍率
ヒ素	2	2	0.026 ~ 0.041	0.01 以下	4.1 倍
ふっ素	1	1	0.91	0.8 以下	1.1 倍

※その他の物質についても調査を実施していますが、基準超過はありません。

2 汚染の原因

現時点では不明です。

なお、周辺地域には、ヒ素及びふっ素を使用する工場・事業場はありません。

3 今後の対応

(1) 地下水調査について

「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、多治見市と連携して、工事区間から半径250mの範囲内にある家庭及び事業所を対象に、井戸水の利用状況調査及び水質調査を直ちに実施します。

(2) 地域住民への周知について

周辺地域は上水道が普及していますが、井戸水を飲用している場合は、結果が判明するまでの間、飲用の自粛を呼びかけます。

(3) 事業者に対する指導について

環境基準を超過した土壤の適正な管理等を行うよう指導します。

○参考

【ヒ素】

ヒ素は、金属と非金属の両方の性質を持つ半金属元素であり、合金の添加材（硬さを高めるため）、半導体の原料、ガラスの消泡剤や脱色剤、花火の着火剤、塗料用の顔料、木材の防腐剤等に使用されています。また、ヒ素は、地殻の表層部には重量比で0.0005%存在し、水中や土壌中、岩石、大気中に広く存在しています。ヒ素に汚染された井戸水の飲用による慢性の中毒症状としては、皮膚の角質化や色素沈着等が報告されています。

【ふっ素】

ふっ素は、今日、最も需要が多いのは代替フロン原料としての用途と考えられます。また、ふっ素は、地殻の表層部には重量比で0.03%存在し、自然界では様々な元素と結合した化合物として存在しています。環境中では主に水中に存在し、温泉水や火山地帯の地下水には高濃度のふっ素が含まれていることがあります。ふっ素を継続的に飲み水から体内に取り込むと、斑状歯（歯に褐色の斑点や染みができた状態）になることがあります。

参考：化学物質ファクトシート-2012年版-（環境省発行）